



千葉県

## 亀田 和弘さん・玲子さん(楯渡)

取材者：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 鍋嶋  
取材日：3月19日

### 落ち込むよりは、前を向いて生きていきたい



▲亀田さんご夫婦と愛犬ゆず



▲料理教室風景

4年前、和弘さんが浪江町復興支援員の仕事に就いて半年たった頃に、借上げ住宅で取材を受けてくださった亀田さんご夫婦。

避難先の佐倉市で土地を求め暮らしていくことを決めました。

**和弘さん** 以前、取材を受けた時は、義父と娘と私たち夫婦の4人で借上げ住宅に暮らしていました。一昨年、京成本線津田から10分の場所に土地を購入、家を建てました。その後、義父が亡くなり、娘も仕事の関係で会社の寮に移り、今は夫婦二人と愛犬ゆず(15歳)とで元気に暮らしています。息子夫婦と孫たちは、ここから車で1時間ほどの所に住んでいます。娘もこの秋には、結婚の予定です。

しかし、6年の避難生活は長く、その間に、こちらでの皆さんとの交流も深まり、千葉に家を求め住むことを決めました。父も初めは帰りたいと言っていました。浪江の家も取り壊しましたが、自分も高齢のため戻って生活するのは諦めたようです。それでも、浪江にはお墓と義父が震災前に建てたばかりの家がある。お盆やお彼岸、お正月には父を連れて浪江に帰り、その家に泊まっています。

「落ち込むよりは前を向いて生きていきたい」物は失っても健康でいられたらと思います。常磐線が浪江まで開通したら、もっと気軽に相双地域の仲間たちと会いに行けると思います。古くからの友人と気軽にしゃべりするだけで元気がになります。福島と千葉の行き来を続けることになりませんが、友人たちとのつながりや自分たちの暮らしを大事にしていければと思います。

**玲子さん** 震災前から行っていた「タッパーウェア料

料



# 浪江の ころ通信

・第84号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、町内全域に出されていた避難指示は、平成29年3月31日に「帰還困難区域」を除き解除されましたが、多くの浪江町民は福島県内外に分散して避難生活を続けています。町を取り巻く状況が徐々に変化する中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

“浪江のころプロジェクト”は、町民の皆さんの声を「浪江のころ通信(※1)」を通して届け、皆さんの思いや暮らしぶりを発信・共有しようとするものです。

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※2)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町と連携し「浪江のころ通信」を編集・発行しています。

※1 浪江のころ通信は、町民の皆さんがお話した「ころ」を伝えることを大切にするため、取材者が聴き取ったまとめた原稿をほぼ原文のまま掲載しています。

※2 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

### 再取材シリーズ

### 再会・浪江のころ

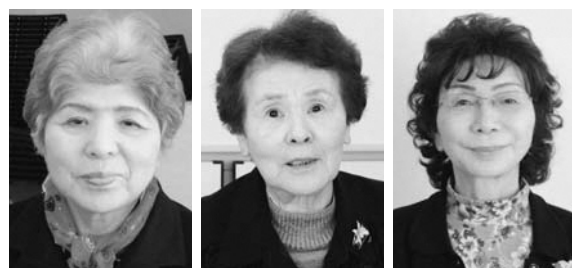
これまで取材を受けていただいた皆さんに、再度の取材を行うコーナーです。

3・11から7年以上が経過した今、感じていること、伝えたいこと、そして最初の取材以降の気持ちの変化やふるさとへの思いなど皆さんの声をお届けします。

「浪江のころ通信／第84号」への感想をお寄せください。

【連絡先】〒979-1592  
双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2  
「浪江のころ通信」宛  
FAX.0240(34)4593





▲柴さん ▲鈴木さん ▲根岸さん



▲紺野さん ▲落合さん



▲安倍さん ▲川崎さん



▲グループインタビューの風景



よしみ かい  
淑美会

根岸 淑子さん(立野)・鈴木ミキ工さん(川添)  
柴 夕ケ子さん(請戸)・落合 正由さん(請戸)  
紺野 邦子さん(棚塩)・川崎 貫正さん(幾世橋)  
安倍 義忠さん(権現堂)

取材者：認定特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ 古山・松田  
取材日：3月17日

### 集まって、しゃべって、歌って、運動して！ 淑美会は、皆さんの心と健康を支えたい



▲月1回の淑美会に集った方々（3月17日午前撮影）

取材に伺った日は月1回の「みんなのカラオケお茶っこ会」の活動日でした。浪江町地域スポーツセンターに歌声と笑い声が響いていました。「誰でも大歓迎。一緒に楽しい時間を過ごしましょう」と、浪江町地域スポーツセンターを訪れる人々にも声を掛ける会主の根岸さん。浪江に戻った方も、近隣から駆けつけた方も和気あいあいとし、思い思いに楽しんでいらっしました。今回は淑美会のメンバー7名が集まっていたので、お話を伺いました。

区の仮設住宅を経て、戻りました。一人暮らしをしていたら、浪江町社会福祉協議会にこの会を紹介され、問い合わせました。だから、外に出るようになったのは会がきっかけです。  
**鈴木さん** 避難先だった埼玉から南相馬市原町区に移った時に、誰も知っている人がいなくて心細く、根岸さんに電話しました。点在する借上げ住宅の人たちは「集まる場所がない、淋しい」と言っていたので、借上げ住宅自治会「なみえ相双会」を4、5人で立ち上げ、会員として一緒に活動を始めました。会員は約300人、役員は7人、ほかに連絡員10名ほどがいました。新年には「ミニ芸能祭」、花見や芋煮会もやりました。最初、なみえ相双会の催しは、原町区の喫茶「いこい」から始まり、南相馬市立中央図書館を借りていたのですが、南相馬市社会福祉協議会の計らいで視聴覚

◆どのような活動グループなのか、教えてください。  
**根岸さん** (淑美会会主) もともとはカラオケが中心の会でしたが、今では避難されている方、そして浪江町に帰られた方々の心の支えになれたらという考えの下に、活動を続けています。さらに、南相馬市などのデイサービスや特別養護老人施設などを訪問し、ボランティア活動も行っています。施設入居者の皆さまも一緒に歌ったり、踊れたりできるプログラム内容に努め、最後に握手をして別れますが、涙を流しながら「また来てください」と手を握られると、メンバーも心を打たれ、練習に力が入るようです。また、年に一度、研修を兼ねた慰安旅行(2泊3日)も行っており、これまで那須塩原、土湯野地温泉など送迎付きのリーズナブルな宿泊先を探して楽しんでいます。今年は7月初旬を予定しており、ご連絡いただければどなたでも参加できます。  
**◆皆さんの得意のジャンルをお聞かせください**  
**鈴木さん** 演歌や懐メロです。  
**柴さん** 演歌や歌謡曲ですね。  
**落合さん** 演歌。最近、福田こうへいの曲をよく歌っています。  
**紺野さん** 演歌や歌謡曲が大好きです。  
**川崎さん** 3か月前に入会し

**淑美会**  
「唄・舞・楽の共演復興祭」  
●6月17日(日)  
南相馬市文化会館「ゆめはっと」  
●9時30分開演/無料  
今年で4回目。ぜひ、私たちの日頃の成果を見に来てください！そして、仲間になってください。  
〈問合せ・連絡先〉  
根岸淑子 TEL.090(6781)6003

◆最後に、皆さんから一言、コメントをお聞かせください  
**落合さん** 6月17日の復興祭がとても楽しみです。「ゆめはっと」のステージで歌うのは、本当に気持ちがいいんです。  
**紺野さん** 以前は鼻歌程度だったのが、今は歌うことが楽しみになりました。  
**柴さん** 皆さんを支えていただきながら、参加を続けたいと思っています。  
**川崎さん** 体をかばいながら、楽しみます。  
**鈴木さん** 会が続く限り、楽しみに参加します。  
**根岸さん** 一人一人の事情は違うけれども、みんなで一緒に楽しんでいきたいです。一人で考え込む時間は少ない方がいいんです。から、ね。みんなと力を合わせて笑顔を取り戻していきます。